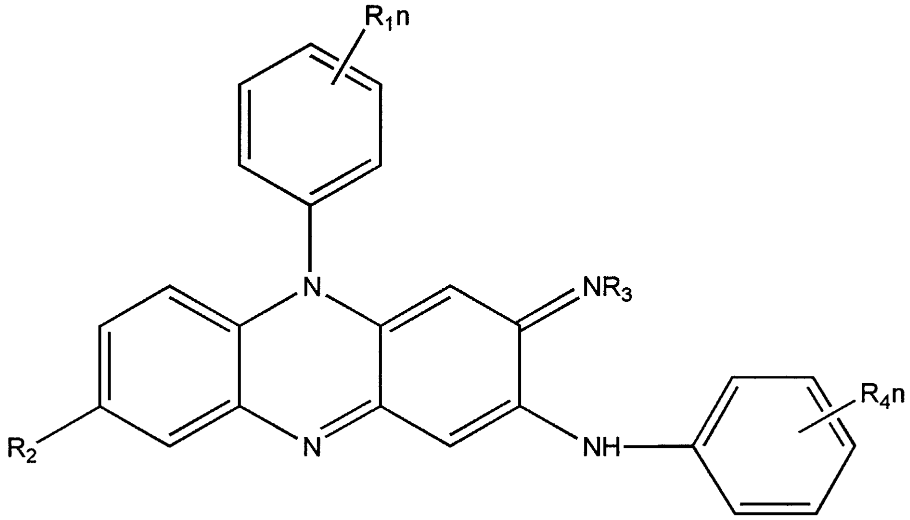
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

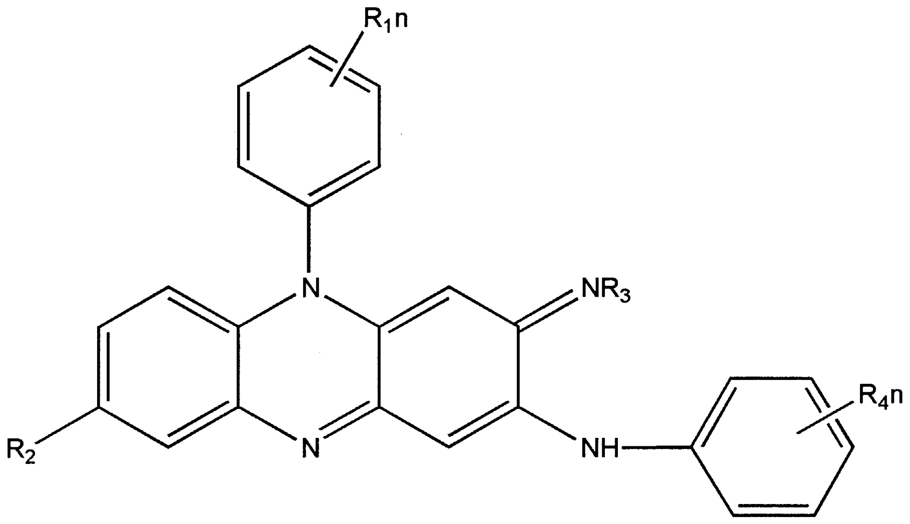
【公表番号】特表2004-536857(P2004-536857A)
【公表日】平成16年12月9日(2004.12.9)
【年通号数】公開・登録公報2004-048
【出願番号】特願2003-513564(P2003-513564)
【国際特許分類】
**Ａ６１Ｋ　31/498　(2006.01)**
**Ａ６１Ｋ　47/44　(2006.01)**
**Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)**
*Ｃ０７Ｄ 241/46　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/498
Ａ６１Ｋ　47/44
Ａ６１Ｐ　35/00
Ｃ０７Ｄ 241/46

【手続補正書】
【提出日】平成17年7月8日(2005.7.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
処置は、腫瘍のサイトに、治療上の有効量の下記構造式Ｉの化合物、それらの類似物、又は、それらの代謝物を含有している組成物の領域送達を含む、対象物の腫瘍の処置のために使用される医薬組成物を製造するための前記組成物の使用：
【化１】


構造式Ｉ

　ここで、$R_1$及び$R_4$は、水素原子、ハロゲン原子、$C_1-C_3$のアルキル基、$C_1-C_3$のアルコキシ基、フルオロメトキシ及びトリフルオロメチル基からなる群から選択され、$R_2$は、水素及びハロゲン原子からなる群から選択され、$R_3$は、水素原子、$C_1-C_4$のアルキル、N,N－ジアルキルアミノアルキル、$C_3-C_{12}$のシクロアルキル、メチルシクロヘキシル、ヒドロキシシクロヘキシル、シクロアルキルメチル、ピペリジル、アルキル置換ピペリジル及びN－ベンジル置換ピペリジルからなる群から選択され、また、nは、１以上３以下の数である。
【請求項２】
　$R_1$は、１の位置で有し、Clである請求項１記載の使用。
【請求項３】
　n＝１であり、$R_1$はClであり、$R_2$はHであり、$R_3$は$CH(CH_3)_2$であり、かつ、$R_4$はClである請求項１又は２記載の使用。
【請求項４】
　リミノフェナジン化合物は、クロファジミンである請求項１～３のいずれかに記載の使用。
【請求項５】
　前記腫瘍は、肝臓癌又は肝臓中の二次癌である請求項１～４のいずれかに記載の使用。
【請求項６】
　前記領域送達は、肝臓の動脈経由である請求項１～５のいずれかに記載の使用。
【請求項７】
　前記腫瘍は、結腸直腸癌、肺癌、乳癌、前立腺癌、膵臓癌、腎臓癌及び他の器官の二次転移からなる群から選択される請求項１～４のいずれかに記載の使用。
【請求項８】
　前記組成物は、主動脈を通ってポンプ経由で溶液の連続的な輸液として投与される請求項１～７のいずれかに記載の使用。
。
【請求項９】
　前記組成物は、腹腔内に投与される請求項１～７のいずれかに記載の使用。
【請求項１０】
　前記組成物は、さらに脂質を含有している請求項１～９のいずれかに記載の使用。
【請求項１１】
　前記脂質は、腫瘍がどん欲であるための脂質である請求項１０に記載の使用。
【請求項１２】
　前記脂質は、油であり、
　油は、外部手段によってイメージされる請求項１０又は１１に記載の使用。
【請求項１３】
　前記油は、ヨード化油である請求項１１記載の使用。
【請求項１４】
　前記油は、リピオドールである請求項１１記載の使用。
【請求項１５】
　前記脂質は、大豆油、脂肪酸モノグリセリド、中鎖トリグリセライド、オリーブ油、落花生油、クルミ油、肝油、ニトロオキシル脂肪酸、エチルリノール酸塩、ポリヨード化トリグリセリド及びポリヨード化トリアシルグリセロースからなる群から選択される請求項１０記載の使用。
【請求項１６】
　脂質キャリアー、及び、少なくとも０．１μＭの濃度の下記構造式Ｉの化合物を含有している組成物である、対象物の腫瘍の処置において、使用するための製薬組成物：

【化２】



構造式Ｉ

ここで、$R_1$及び$R_4$は、水素原子、ハロゲン原子、$C_1-C_3$のアルキル基、$C_1-C_3$のアルコキシ基、フルオロメトキシ及びトリフルオロメチル基からなる群から選択され、$R_2$は、水素及びハロゲン原子からなる群から選択され、$R_3$は、水素及びハロゲン原子からなる群から選択され、$R_3$は、水素原子、$C_1-C_4$のアルキル、N,N－ジアルキルアミノアルキル、$C_3-C_{12}$のシクロアルキル、メチルシクロヘキシル、ヒドロキシシクロヘキシル、シクロアルキルメチルピペリジル、アルキル置換ピペリジル及びN－ベンジル置換ピペリジルからなる群から選択され、また、nは、１以上３以下の数であり、

前記脂質キャリアーは、ヨード化油、大豆油、脂肪酸モノグリセリド、中鎖トリグリセライド、オリーブ油、落花生油、クルミ油、肝油、ニトロオキシル脂肪酸、エチルリノール酸塩、ポリヨード化トリグリセリド及びポリヨード化トリアシルグリセロースからなる群から選択される。

【請求項１７】

$R_1$は、１の位置で有し、Clである請求項１６記載の組成物。

【請求項１８】

n＝１であり、$R_1$はClであり、$R_2$はHであり、$R_3$は$CH(CH_3)_2$であり、かつ、$R_4$はClである請求項１６又は１７記載の組成物。

【請求項１９】

リミノフェナジン化合物は、クロファジミンである請求項１６～１８のいずれかに記載の組成物。

【請求項２０】

前記ヨード化油は、リピオドールである請求項１６～１９のいずれかに記載の組成物。

【請求項２１】

リミノフェナジン化合物は、少なくとも０．５μＭの濃度で組成物中に存在している請求項１６～２０のいずれかに記載の組成物。

【請求項２２】

前記リミノフェナジン化合物の濃度は、０．１μＭ以上１０μＭ以下の範囲である請求項１６～２１のいずれかに記載の組成物。